

(かすみがうら) スマート IC 整備事業について

(概 要)

かすみがうら市は、首都東京と直結し、JR 常磐線・常磐自動車道・国道 6 号などにより構成される「常磐軸」上に位置し、つくば市へ約 10km、県都水戸市へ約 30km、首都東京へは約 70km と、霞ヶ浦や筑波山系の山々に抱かれ豊かな自然環境にありながらも恵まれた交通立地条件にあり 6 つの工業団地も形成されている。さらに茨城空港へは 15km 圏内にあり、県南地域からのアクセスの一環として構想される「霞ヶ浦二橋」も地域活性化の新たな可能性に向けて期待されている。

また、梨、ブドウ、栗、柿、イチゴ、ブルーベリーなどの果物狩りや、霞ヶ浦の湖岸域は多くの観光客を集めており、体験や自然とのふれあいを大切にした生活志向が強まるなか、将来の少子高齢社会の進展に伴う人口減少などに対応するため、交流人口を増大させ、活気ある地域づくりを進めていくものである。

1. スマート IC を設置したい主な理由

- ・工業団地における物流等の企業活動の効率化と生産環境の向上が図れる。
- ・スマート IC を活用し幹線道路へのアクセスによる救急医療がより広く、より早くなる。
- ・スマート IC 周辺に点在する果樹園など観光施設へのアクセス向上による交流人口の拡大。
- ・I C への交通が分散することにより一般国道 6 号下土田～中貫地内周辺の渋滞緩和が解消できる。
- ・スマート I C に直結するアクセス道路の整備による市民生活利便性の向上が図れる。

2. 想定される場所の候補地

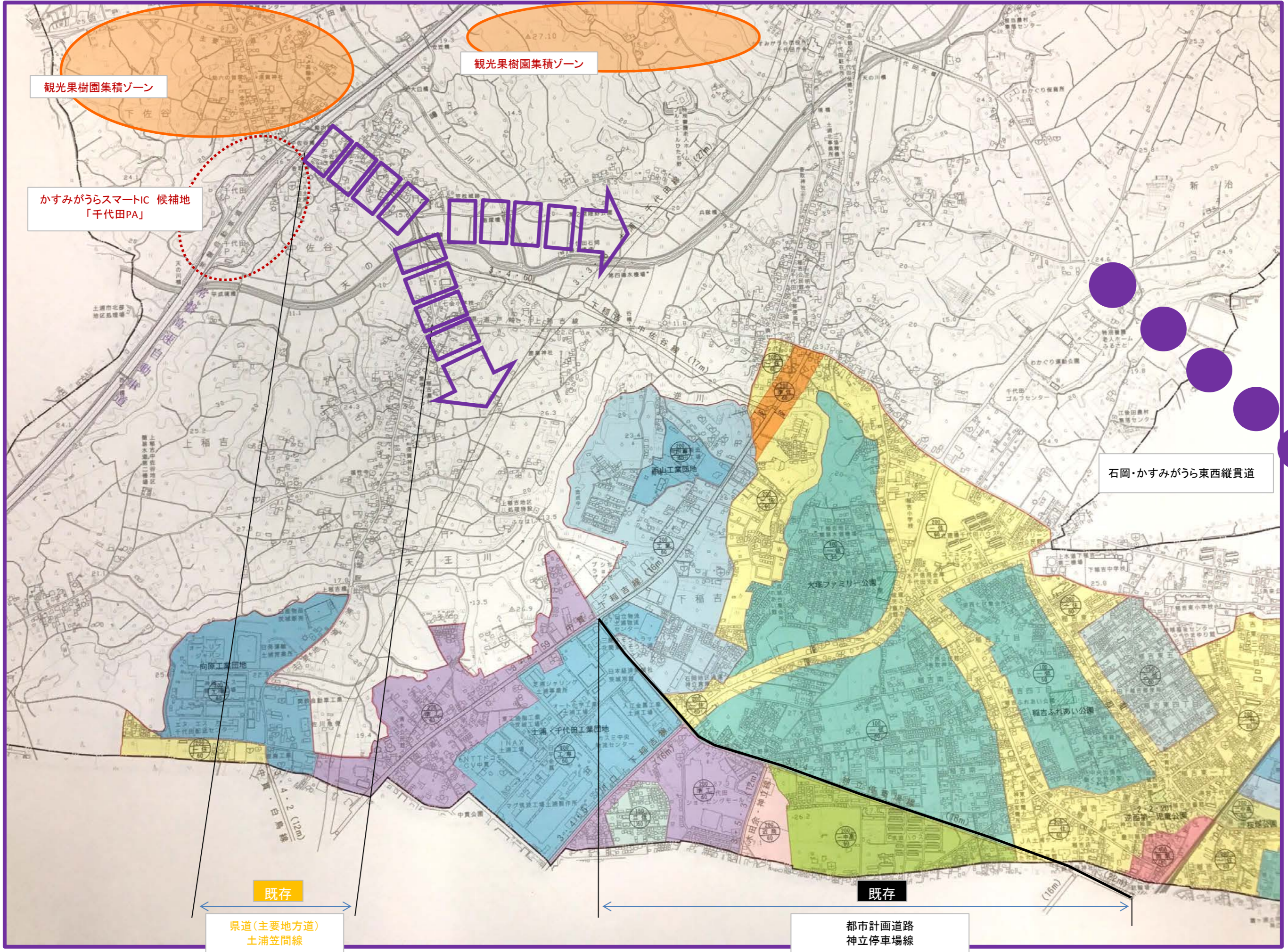
- ・土浦北 I C～千代田石岡 I Cの間

3. スマート I Cによる整備効果（例えば、千代田 P Aを候補地とした場合）

- ・スマート I C アクセス道路を整備することと併せ、都市計画道路「神立駅停車場線」や石岡・かすみがうら東西縦貫道と接続することによる利便性の大幅な向上
 - スマート I C から向原工業団地や西山工業団地、土浦・千代田工業団地を経て神立駅周辺（中心市街地）へ
 - スマート I C から東西縦貫道を経て県道馬場山・牛渡・土浦線から霞ヶ浦地区方面へ、また田村沖宿線を経て土浦協同病院方面へ
- ・千代田 P A 周辺でのイベント開催による地域産業の振興
- ・観光果樹園への直結による産業の活性化

4. スケジュール（案）

- ・平成 30～32 年度 都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画位置付け
関係機関（国・県・N E X C O）との調整協議
- ・平成 30～34 年度 スマート I C 準備段階調査業務
実施計画書作成
- ・平成 35 年度以降 事業化（開通）



観光果樹園集積ゾーン

観光果樹園集積ゾーン

かすみがうらスマートIC 候補地
「千代田PA」

石岡・かすみがうら東西縦貫道

既存

県道(主要地方道)
土浦笠間線

既存

都市計画道路
神立停車場線